

時期	2年A巡	単元	学科	教科名	エンジン構造Ⅱ1	
科目	エンジン構造Ⅱ1	教科書等 持参品	2級ガソリン自動車 エンジン編 科目別試験問題		発行日	2024年4月1日
総時限	15時限				教科担当	人見
必要時限	15時限					

指導教員の実務経験

該当

非該当

自動車整備士として、エンジン整備の実務経験がある教員によりエンジンの構造、作動について指導する。

教科の目的（この学科の狙い、目的を明確に記入）

- ①ガソリン・エンジンの燃焼方式を理解する。
- ②ガソリンエンジンの性能、燃焼を理解する。
- ③ガソリンエンジンのエンジン本体の構造、機能を理解する。
- ④ガソリンエンジンの燃料装置の構造、機能を理解する。
- ⑤ガソリンエンジンの電子制御装置の概要、構造、機能について理解する。

授業の到達目標（何を理解し何ができるようになるのか）

- ①ガソリンエンジンの燃焼方式がわかり、分類ができ、その特徴が理解出来る。
- ②ガソリンエンジンの性能について理解出来る。
- ③ガソリンエンジンの燃焼及び排出ガス特性について理解出来る。
- ④ガソリンエンジン本体の構造、機能が理解出来る。
- ⑤燃料装置の構成部品、名称、役割、構造、機能が理解出来る。
- ⑥電子制御装置の構成部品、名称、役割、構造、機能が理解出来る。

学習評価（期末試験での主な試験項目）

- 1) 履修試験での学習評価 筆記試験 100点にて評価する。
整備科、SPM科 60点以上で合格、工学科 70点以上で合格。
- 2) 出題試験項目
 - ①ガソリンエンジンの燃焼方式。 ④燃料装置
 - ②エンジンの性能。 ⑤電子制御装置
 - ③エンジンの燃焼。

準備学習

事前に一年A、B巡エンジン構造Ⅰの内容を確認し、ガソリンエンジンの性能、燃焼、バルブタイミング等、ガソリンエンジンの本体構造、潤滑装置、冷却装置の復習
 次回の授業内容範囲を予習して、テキストを読んでおき、授業内容や質問事項等を学習する。

自動車整備科・一級自動車工学科		2025年		授業計画		
時期	2年C巡	単元	学科	教科名	エンジン構造Ⅱ2	
科目	自動車工学	教科書等 持参品	2級ガソリン自動車 エンジン編		発行日	2024年4月1日
			2級ディーゼル自動車 エンジン編			
総時限	11時限		科目別問題集		教科担当	吉田
必要時限	11時限					
指導教員の実務経験 <input checked="" type="radio"/> 該当 <input type="radio"/> 非該当 						
自動車整備士として、エンジン整備の実務経験がある教員によりエンジンの構造、作動について指導する。						
教科の目的（この学科の狙い、目的を明確に記入）						
①吸排気装置の構造、機能を理解する。 ②ガソリンエンジンの点検整備を理解する。 ③ガソリンエンジンの故障探求の基礎について理解する。						
授業の到達目標（何を理解し何が出来るようになるのか）						
①エンジンの吸排気装置の過給機、可変吸気装置の役割、構成部品、名称が理解出来る。 ②エンジンの吸排気装置の過給機、可変吸気装置の構造、機能が理解出来る。 ③ガソリンエンジンの点検手順が理解出来る。 ④電子制御装置の各センサ、アクチュエータの回路点検が理解出来る。 ⑤ガソリンエンジンの故障探求の基礎について理解出来る。 ⑥ガソリンエンジンの故障現象と原因の関連について理解できる。						
学習評価（期末試験での主な試験項目）						
1) 履修試験での学習評価 筆記試験 100点にて評価する。 整備科、SPM科 60点以上で合格、工学科 70点以上で合格。						
2) 出題試験項目						
①吸排気装置の構造、機能。 ②ガソリンエンジンの点検整備。 ③ガソリンエンジンの故障探求基礎 ④ガソリンエンジンの総論、本体、潤滑、冷却装置、燃料装置、電子制御装置（前期分の範囲）						
準備学習						
事前にエンジン4（電子制御）に関する電子制御装置の構成部品、制御等を復習する。 事前に前期分のエンジン構造に関する内容について復習する。 次回の授業内容範囲を予習して、テキストを読んでおき、授業内容や質問事項等を学習する。						

